

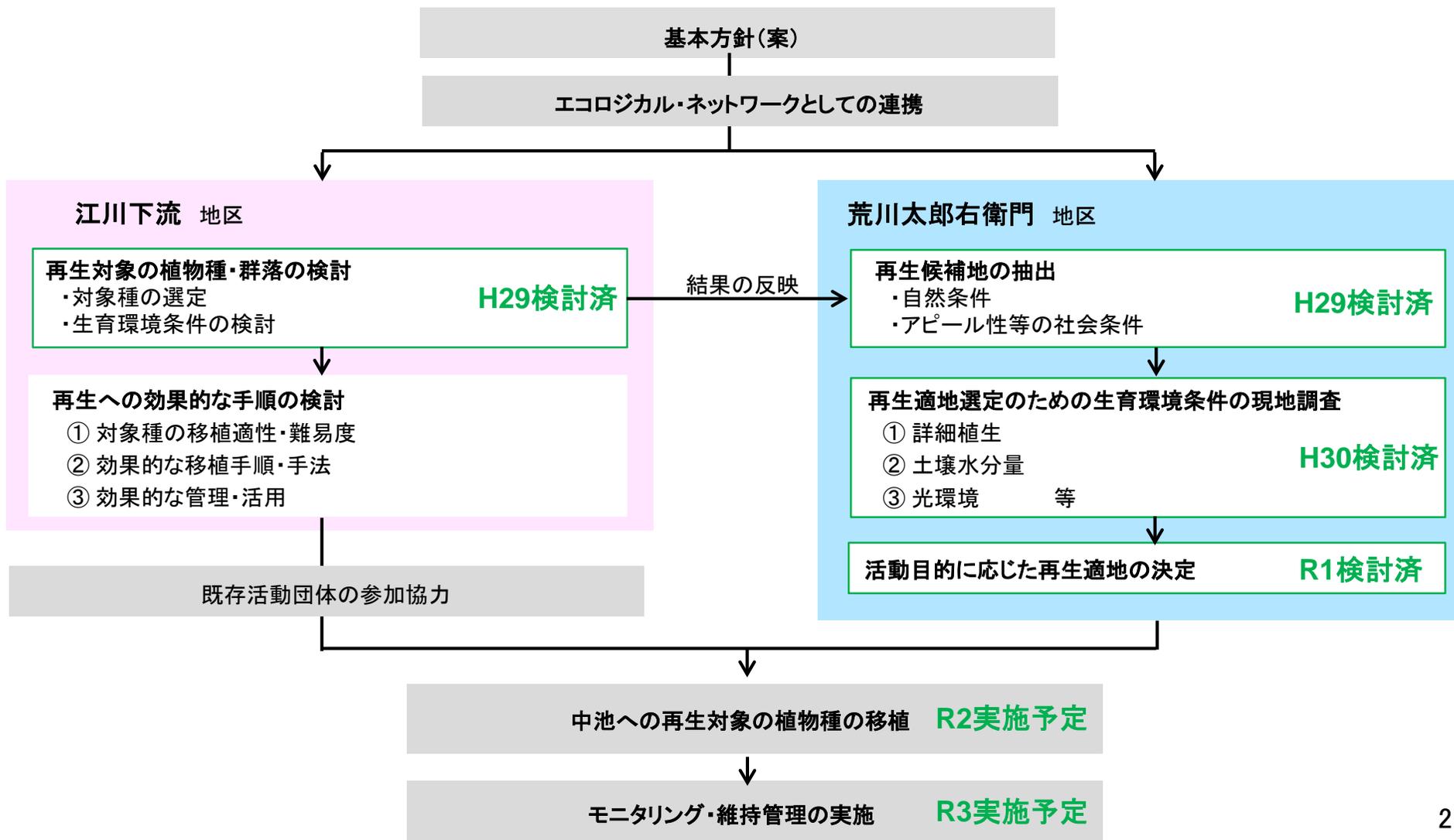
エコロジカル・ネットワークの取り組みについて

【目次】

1. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動計画 検討の流れ・・・・・・・・ P2
2. 再生対象の植物種・群落の検討・・・・・・・・ P3
3. 再生対象の植物種の概要・・・・・・・・ P4
4. サクラソウ群落の移植位置・・・・・・・・ P5
5. 移植するサクラソウ群落について（案）・・・・・・・・ P6
6. サクラソウ群落の植生管理について（案）・・・・・・・・ P7
7. サクラソウ群落の移植における実施概要（案）・・・・・・・・ P8

1. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動計画 検討の流れ

- 目的 ① 自然再生事業地の効果的なアピールを図るために「サクラソウ群落」の再生を目標とした活動を推進する。
② 「江川下流地区」との連携によるエコロジカル・ネットワーク形成に向けた活動を推進する。



2. 再生対象の植物種・群落の検討

- 再生対象の植物種の選定にあたっては、「サクラソウ群落」の構成種を基本としながら、荒川太郎右衛門地区のかつての原野植生を念頭に、希少性やアピール性にも留意しつつ、以下の計15種の候補種の選定を行いました。生育環境としては、水域～湿地を中心に、一部は草地環境の種も含んでいます。【検討済み】
- 希少種も多く含まれることから、再生対象種ごとに、効果的な育成や移植の手順について検討を進めていきます。

No.	科名	種名	生育環境			花の色	環境省 レッド	埼玉県 レッド
			水域	湿地	草地			
1	スイレン	コウホネ	●			黄		NT
2	ミツガシワ	アサザ	●			黄	NT	VU
3	サクラソウ	ヌマトラノオ		●		白		NT
4	オトギリソウ	トモエソウ		●		黄		VU
5	トウダイグサ	ノウルシ		●		黄	NT	VU
6	キク	ホソバオグルマ		●		黄	VU	EN
7	サクラソウ	サクラソウ		●		ピンク	NT	CR
8	キョウチクトウ	チョウジソウ		●		淡い紫	NT	EN
9	アヤメ	ノハナショウブ		●		紫・紺		VU
10	ラン	ミズチドリ		●		白		CR
11	キキョウ	バアソブ		●		白と紫	VU	EN
12	ユリ	コオニユリ		●	●	赤		NT
13	ナデシコ	カワラナデシコ			●	ピンク		VU
14	サクラソウ	ノジトラノオ			●	白	VU	EN
15	ヒガンバナ	キツネノカミソリ			●	赤		NT

□:2020年度移植対象

- ・環境省レッド・・・第4次環境省レッドリスト植物 I および II (環境省、2019)への掲載状況
 - ・埼玉県レッド・・・再改訂・埼玉県レッドリスト2011植物編(埼玉県、2011)の掲載状況
- <レッドデータブックのカテゴリー区分>
- CR : 絶滅危惧 I A 類 EN : 絶滅危惧 I B 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧

3. 再生対象の植物種の概要

□: 2020年度移植対象

水域



[1] コウホネ
【県：準絶滅危惧】
水路、池沼などに生える多年草



[2] アサザ
【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧Ⅱ類】
湖沼やため池、緩い流れに生育する浮葉植物



[9] ノハナショウブ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿った草原や湿原に生える多年草

湿地



[3] ヌマトラノオ
【県：準絶滅危惧】
ヨシ原、河辺、畔など湿地に生育する多年草



[6] ホソバオグルマ
【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】
自然性の高い湿地に生育する多年草



[10] ミズテドリ
【県：絶滅危惧ⅠA類】
湿性草原に生育する多年草



[4] トモエソウ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿地、原野に生える多年草



[7] サクラソウ
【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧ⅠA類】
湿地や原野に生える春型の多年草



[11] バアソウ
【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】
湿地や原野に生えるつる性の多年草



[5] ノウルシ
【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧Ⅱ類】
湿地や原野に生える春型の多年草



[8] チョウジソウ
【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧ⅠB類】
河畔林、オギ原などに生育する多年草



[12] コオニユリ
【県：準絶滅危惧】
湿った草原に生える多年草

草地



[13] カワラナデシコ
【県：絶滅危惧Ⅱ類】
砂礫河原や貧栄養な草原に生育する多年草



[14] ノジトラノオ
【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】
土手、やや湿り気のある草地などに生育する多年草



[15] キツネノカミソリ
【県：準絶滅危惧】
土手や樹林内などに生育する多年草

4. サクラソウ群落の移植位置

- 荒川流域のエコロジカル・ネットワーク形成において自然環境の核となる自然再生地の湿地環境を保全・再生する取り組みとして、中池の④中池サクラソウ移植地（下赤枠）において、サクラソウ群落を移植します。

①中池広場

中池広場は、オオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「在来種による草地環境の形成」を促し、ギンイチモンジセセリなど乾性草地に生息する希少な生きものが繁殖する場とする。

②中池広場対岸

中池広場対岸は、オギ群落周辺にオオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「オギ原の形成」を促し、ホンドカヤネズミやオオヨシキリなどの生息空間とする。



④中池サクラソウ移植地

中池サクラソウ移植地は、大型草本が優占種となっている中池湿地を「サクラソウ群落の形成」を促す。また、浅い水辺などに生息するトウキョウウダルマガエルなど生息環境を維持する。

③中池奥広場

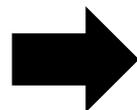
水際のシンジュ伐採跡地は、1) 水辺へのアクセスを活かし低茎草地（河原草地）の育成、また、2) クヌギ林などの河畔林を育成し、オオムラサキなどの生息環境を維持する。

5. 移植するサクラソウ群落について（案）

移植場所



令和2年11月11日
(維持管理作業状況)



移植予定範囲

令和2年11月11日
(維持管理作業後)

2020年度に移植する種類（7種類）

							
種名	サクラソウ	ノウルシ	チョウジソウ	ノハナショウブ	アサザ	ヌマトラノオ	トモエソウ
株数	約50株	約20株	約30株	約10株	約5株	約15株	約10株
花期	4～5月	4～5月	4～5月	6～7月	6～9月	7～8月	7～8月

6. サクラソウ群落の植生管理について（案）

植生管理

■モニタリング調査

- ・4月中～下旬 サクラソウ・ノウルシ・チョウジソウ：生育株数及び開花株数の調査
- ・6月 ノハナショウブ：生育株数及び開花株数の調査
- ・7月 ヌマトラノオ・トモエソウ：生育株数及び開花株数の調査

■維持管理方法

- ・4月～10月 外来植物の駆除：移植地周辺の外来植物の駆除を月1回程度の頻度で実施します。
- ・11月～1月 除草：翌春の日照条件確保のため、地上部が枯れた後の地表面の除草を月1回程度の頻度で実施します。

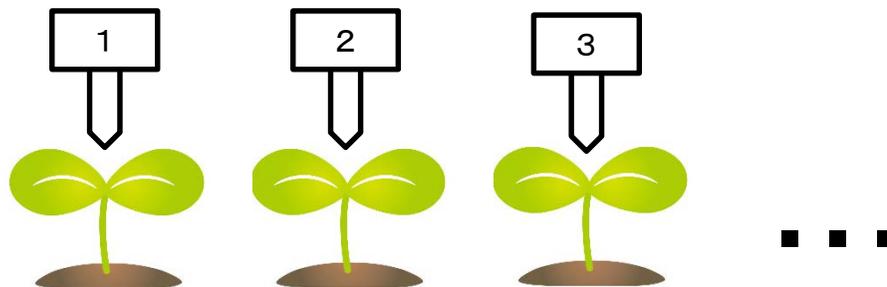
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来植物の駆除	■	■	■	■	■	■	■					
除草								■	■	■		

■その他

- ・今回の植栽はごく一部の取組であり、今後4-5年間程度は継続した植栽などの取組が必要と考えられます。

盗掘対策

- ・移植した植物の株毎にナンバリングを行います。具体的には、移植植物付近に、ナンバリングされたプレートを設置します。



7. サクラソウ群落の移植における実施概要（案）

- 前回（第40回）の維持管理・環境管理専門委員会で協議会委員より中池サクラソウ移植地へのサクラソウ群落の移植について提案がありました。
- 関係者を含めて移植を行うことを事務局で検討し、「荒川の草花を育てようプロジェクト」に協力して頂いているつばさ北小学校と協議した結果、「たねのお返し式」と合わせて、現地でのサクラソウ群落の移植が可能と回答を頂きました。

項目	内容	備考	
実施概要	日時	2021年2月24日（水） 9:45～11:15	雨天延期2月26日（金）同時間
	名称	サクラソウ群落の移植作業（仮称）	
	目的	・荒川流域の自然環境のネットワークの核となる太郎右衛門自然再生地の湿地環境を保全・再生することにより自然環境全体の質的向上を図り、エコロジカル・ネットワーク化を推進すること	
	場所・内容	・自然再生地中池（サクラソウ移植地） ・サクラソウ群落の移植作業	
	参加者	・つばさ北小学校4年生（30名） ・関係者（以下予定） サイサン環境保全基金、S財団、Tコーヒー、本田航空、大和ハウス工業、上尾ものづくり協同組合、自治体（上尾市、桶川市、川島町）、協議会委員、その他マーケットリサーチ先	
	使用物品	・土、ポット、移植する植物の苗※、スコップ、ペグ、スズランテープ、植物札、救急セット、植物の解説資料 等	つばさ北小学校準備：帽子、軍手、飲み物 ※移植地の整備及び植物の手配等は事務局が行う